

2010年1月4日

<報道各位>

ユーシーカード株式会社

## UCカード、クレジットカード決済メインシステムにおいて PCI DSSを取得 ～国際セキュリティガイドラインに完全準拠～

ユーシーカード株式会社（以下：UCカード、本社：東京都港区、代表取締役社長：井上誠一郎）は、クレジットカード決済におけるメインシステムにおいて、決済カード業界における世界標準のデータセキュリティ基準である“Payment Card Industry Data Security Standard（以下、PCI DSS）Ver1. 2”の準拠認定を取得いたしました。

クレジットカード会社が、メインシステム環境においてPCI DSS Ver.1. 2の準拠認定を取得したのは、日本初となります。

PCI DSSは、MasterCardやVisaをはじめとする決済カードの国際ブランド5社が共同で制定した、決済カード情報およびカード取引情報の保護に関する世界標準のセキュリティ基準です。クレジットカードやデビットカードをお客さまに安心してご利用いただけるよう、クレジットカード会社をはじめ、加盟店、決済代行会社、ネットワーク会社等、決済カードを取り扱う事業者および決済カードに関するデータを取り扱う事業者を対象に、12項目のセキュリティ要件で構成されています。なお、12の要件は6つのカテゴリーに分類されます。

- (1) 安全なネットワークの構築と維持
- (2) カード会員データの保護
- (3) 脆弱性管理プログラムの整備
- (4) 強固なアクセス制御手法の導入
- (5) ネットワークの定期的な監視およびテスト
- (6) 情報セキュリティ・ポリシーの整備

UCカードは、他のクレジットカード会社が発行するクレジットカードのプロセッシング業務<sup>\*</sup>処理を受託しており、今回の準拠認定の取得は、UCカードのクレジットカード決済サービスが、セキュリティを確保する上でより強固な体制で構築されていることが客観的に認められたものです。

<sup>\*</sup>カードを利用した際の売上から決済までの一連の処理、具体的には、途上与信からコールセンター、各種事務処理業務等

今後も、定期的に外部認定機関の監査を受けることで、上記のセキュリティ要件の準拠を維持していることを確認し、UCカードは、決済カード取引の安全な環境構築に向け、継続的なセキュリティの維持・向上に努めてまいります。

以上

【UCカードのネットワーク構成イメージ】

今回、PCI DSS Ver1. 2の準拠認定を取得したのは、UCカードが他カード会社から受託しているプロセッシング業務部分となります。（赤囲み部分）

